カナダ産
大豆の利点

お客様のニーズに応える高品質大豆

SOY CANADA

カナダ大豆協会

協力体制強化

カナダは大豆の品質と価値において世界のリーダーであり、皆様の変化するニーズに応えるべく、常に能力強化に努めています。

カナダ大豆業界では、大豆や大豆製品の生産・販売・加工・開発に携わっている関係者一同が結集し、２０１４年に全国組織「カナダ大豆協会」を設立しました。大豆のバリューチェーンに関わるあらゆる関係者が結集した組織として、業界の隅々に至るまで意志伝達・連携・知識の強化を図ることが可能となりました。

この新協力体制はお客様にとって以下のような利点をもたらします。

- 播種から出荷に至るまで、常に顧客のニーズと期待に応えることを重視
- 生産から販売に至るまで、栽培手法・トレーサビリティ・品質管理に対する一貫したサポート体制
- 研究・品種開発・物流改善に対して、市場ニーズを重視したチームアプローチ
- 新しい研究成果がより迅速に現場の実践につながる

SOY CANADA

優れた生育条件

世界の中でも大豆生産に最も適した環境

カナダの大豆作付面積は現在225万ヘクタールですが、新品種開発に伴い生産量は急速に拡大しています。作付けから収穫、そしてその後に至るまで、カナダの生産農家は高品質・安定供給という皆様の期待に応えるべく日夜献身しています。

カナダ産大豆は、豆腐・豆乳・納豆・味噌を含む様々な食品に使用される食用大豆として、海外で高い評価を得ています。一万軒以上の生産農家が非GMのIP食用大豆を輸出顧客向けに契約栽培しています。

クリーンで肥沃な農地

クリーンで生産性の高い天然資源は、カナダの最も価値の高い資産の一つです。カナダの広大な農地は地中深くまで肥沃な土壌のため、大豆がしっかりと根付き、実り豊かに成長することができます。

カナダの大豆主産地は世界でも最大級の河川・湖に隣接する気候穏やかな地域で、気温・降雨量が安定しているため、毎年高タンパク・一定品質の大豆を安定した単収で生産することができます。

先進的かつ持続可能な生産方法

カナダの大豆農家は農地や生産方法に関して高度な技術と知識を持ち、常に新しい機械や技術に投資しています。また、数多くの官民の大豆研究者やアグロノミストが、播種・施肥・病害虫管理・収穫等について農家に助言・指導しています。

農家は穀物会社との契約により食用大豆を契約栽培します。生育シーズン中、穀物会社の担当者は頻繁に農家を訪問し、お客様の品質基準を満たすことができるようしっかりと生産管理が行われているかどうか確認します。

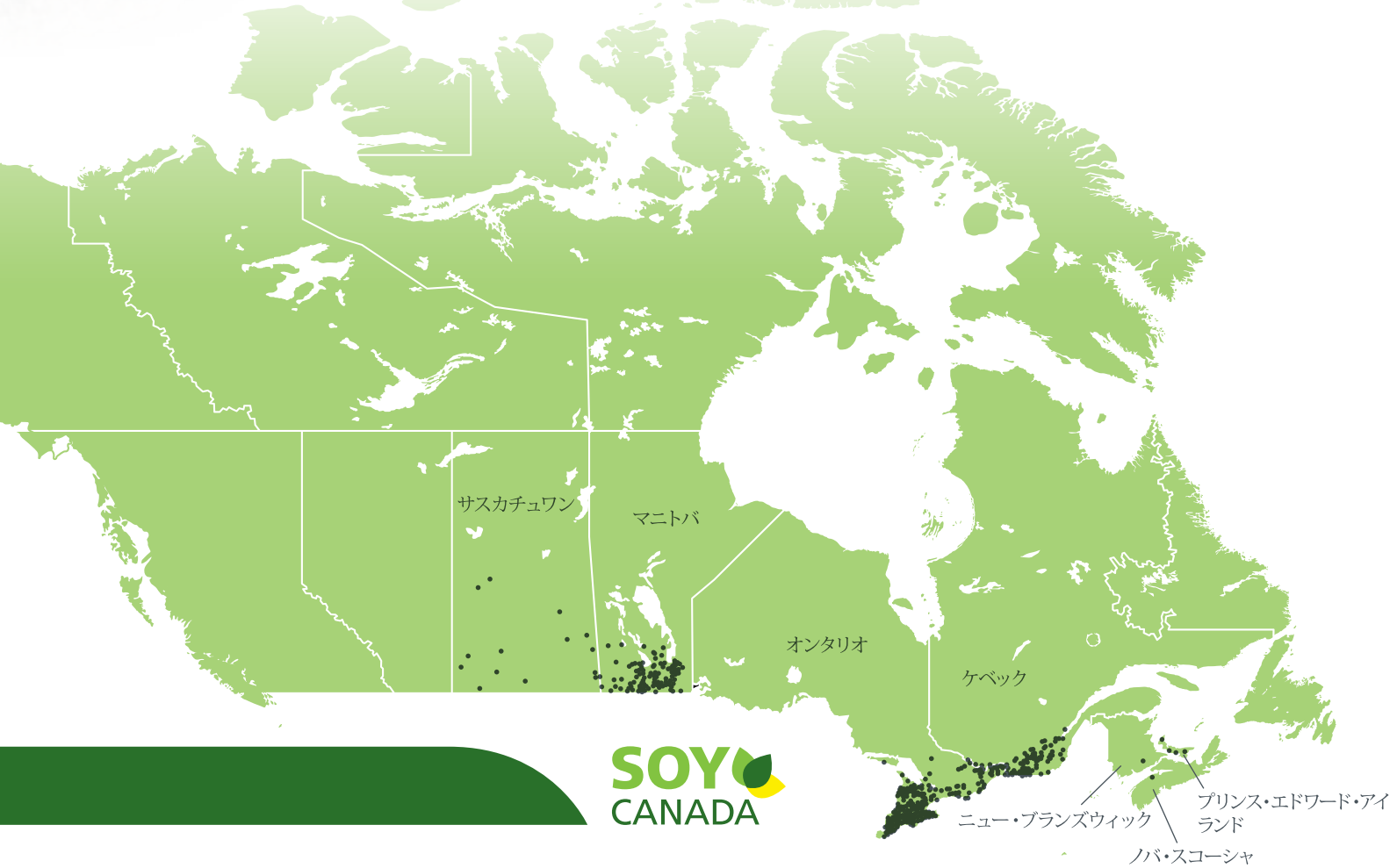
カナダの農家は数世代の家族が従事する家族経営となっています。そのため、土壌の健全性・肥沃度を次世代まで維持することが大切であり、低耕起栽培・計画的輪作・適正な病害虫管理を行っています。カナダの農家は農作物同様、その土地にしっかりと根を張っています。

先進的育種プログラム

カナダでは大豆の品種改良のため官民双方が研究を行っています。大学・政府機関・種子会社がカナダの生育条件に適し、最終顧客の仕様を満たす特徴を備えた品種の開発を行っており、これにより最良の品種のみが商業生産されるようになっています。

カナダの大豆業界は、カナダ大豆協会を通じ、業界一丸となって技術革新と品種開発に取り組んでいます。叡智と資源を結集し、農家には常に高耐性・高単収の新品種を提供し続け、お客様にはお客様の望む品質・安定性をお届けしています。

カナダの大豆の主産地は、世界でも最大級の河川・湖に隣接する肥沃で広大な農地を特徴としています。新品種の開発に伴い、今では大豆の生産は7州に拡大しています。



SOY CANADA

優れた品質管理

世界で最も統合された制度により安定供給・トレーサビリティを確保

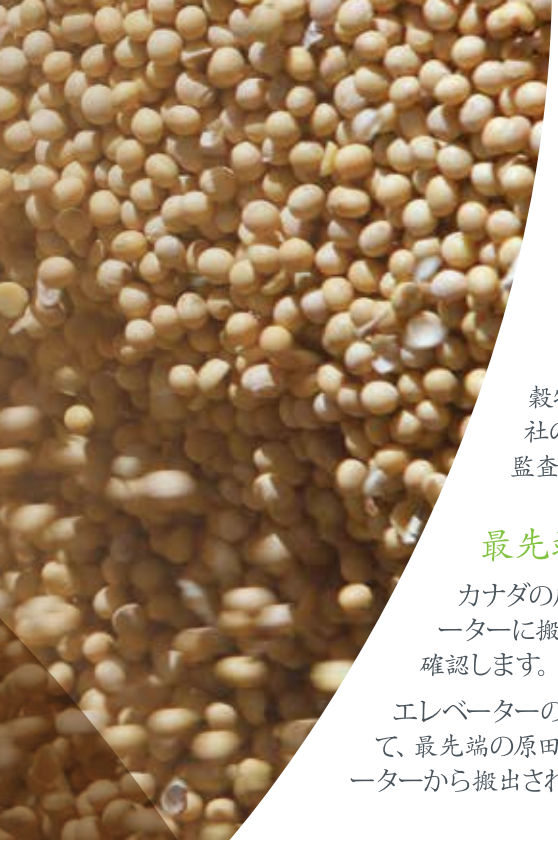
特定の大豆を特定の顧客に供給することにおいて、カナダは他に類を見ない実績を誇っています。これまで30年間、大豆業界とカナダ政府は多額の投資を行い、厳正な品質管理体制と一体となった統合型IP制度を整備してきました。業界関係者が一丸となって皆様にベストをお届けしています。

分別生産流通(IP)

カナダ分別生産流通認証制度(CIPRS) は、カナダ穀物委員会と大豆業界の密接な連携のもと、海外の顧客とも協議して整備されました。カナダ穀物委員会が運営するCIPRSは、皆様が指定した品質の大豆をお届けすることを保証するものです。

CIPRSは、生産から出荷に至るバリューチェーンの各段階で、それぞれが厳格にベストプラクティスを遂行することを規定するものです。IP大豆の分別はまず、種子生産農家が認定種子を生産するところから始まります。次に、IP大豆生産農家が認定種子の作付けを行い、播種から収穫に至るまで農機具をしっかりと維持管理してIP大豆に他の作物が混入しないようにします。農家と穀物エレベーター会社は頻繁に連絡を取りあい、品質確保に必要な生産手順に従って生産されているか確認します。

収穫後IP大豆は必ず専用のサイロに保管されます。生産農家および穀物会社が一連の記録文書を保管することにより、認定種子農家から播種・収穫・選別・出荷に至るまでのトレーサビリティが確保されています。



穀物会社はIP品質管理体制の一貫として各過程の記録文書を作成し保管します。この穀物会社のIP品質管理体制については、カナダ穀物委員会が研修・認定した独立の監査機関が毎年監査を行い、CIPRS認証貨物のトレーサビリティと品質の検証を行っています。

最先端のエレベーター 網

カナダの広範な穀物エレベーター網が、食用大豆の供給に重要な役割を果たしています。エレベーターに搬入する前に各トラックの積荷を厳正に検査し、すべての品質基準を満たしていることを確認します。

エレベーターの多くは、クリーナー、比重選別機、石取り機、研磨機等の優れた選別・加エラインに加えて、最先端の原田製ロール選別機や光選別機を備えています。これらの機械を駆使することにより、エレベーターから搬出される大豆が顧客の期待する特定の品質基準を満たすことを確認しています。

カナダの分別生産流通 (IP) 制度

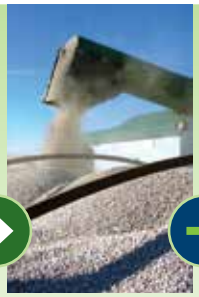
種子生産農家が、品種純度を保証した認定種子を供給する。

カナダのIP認証制度(CIPRS) で認証されるためには、大豆は認定種子農家までトレース可能でなければならない。

播種の際、農家は農機具を徹底的に洗浄し、IP専用の農場に他の種子が誤って播種されることを防ぐ。

生育シーズンを通して、IP大豆の生産は穀物エレベーターの仕様に従って管理される。

農家と頻繁に連絡を取り、仕様が満たされていることを確認する。



収穫の際、農家はコンバインとスクリューコンベヤーを徹底的に洗浄し、 他の作物がIP大豆に混入することを防ぐ。

農家は、収穫したIP大豆を専用のサイロに保管し、純度を保つ。

エレベーターでは搬入されたIP大豆を受け入れる前にサンプルを採取し、純度と品質分析を行う。

その後、品質と純度に従って適切なサイロに保管する。

記録文書保管・監査が各段階で義務付けられていることにより、ベストプラクティスの遂行と厳しい基準の遵守が確保される。

穀物会社は、CIPRS品質管理制度の一環として、各段階で遂行された内容をすべて文書に記録し、これらの文書は訓練を受けた独立の認定監査機関が毎年監査する。

港では、積み込みの前に船を洗浄する。

IP大豆を運ぶコンテナは徹底的に検査を行い、食用大豆の運搬に適した健全なコンテナであることを事前に確認している。

仕向け地のお客様はは、生産・取り扱い・輸送の各段階において純度と品質が確保された大豆を、安心して受け取ることができる。

SOY CANADA

カナダ産大豆について、そして世界の食品加工メーカーが何故カナダ産大豆をまず第一に選ぶかについてのより詳細な情報についてのお問い合わせは下記までご連絡下さい。

SOY CANADA

Jim Everson, Executive Director

605-350 Sparks Street
Ottawa, Ontario K1R 7S8
Canada

1.613.488.9916
info@soycanada.ca
www.soycanada.ca